

交換條件トシテ事實上我吉林局ヲ認シタモノ有之他ノ一在
支帝國郵便局ノ設置トハ聊カ事情ヲ異ニシ殊ニ當地ノ如キ滿鐵附屬
地ト離レ唯一ノ我郵便局ニ全然信賴シテ商取引其他ニ至大ノ利益ヲ
得ツツアル折柄之カ撤廢ノ曉不完全極マル支那局ノ取扱ニ委ヌルニ
至リテハ當館ハ素ヨリ在留一般邦人ノ經濟發展上直接間接甚大ナル
打撃ヲ被ルニ至リ候就テハ右特殊ノ設置事情及之カ撤廢ノ結果邦人
ノ被ル打撃等御考慮ノ上此際當吉林局丈ケハ此儘存置シ置クノ爲御座
議相成度此段申進候 敬具

(已號用紙)

外務省

(已號用紙)

長沙發 大正十一年五月十四日

池 永 領 事

内 田 外 務 大 臣

第一七號

貴電第二三號ニ關シ

當地本邦郵便局撤廢後一般邦人等不便ヲ感スル主ナルモノハ(一)外國
語並外國文ニテ用ヲ達セサルヘカラサルコト(二)郵便物及爲替取扱ニ
關シ支那郵便局ハ其規定ヲ異ニスルモノ有ルノミナラス全然日本郵
便局ノ如キ取扱無キモノアリ且馬德里條約ニ依リ萬國郵便法ヲ適用
センカ郵料ノ甲種ナルコト(三)内亂ニ伴フ郵便物及貯金ニ對スル不安

外務省

(已號用紙)

ナルコトニシテ之カ不便ヲ感セサラシメントセハ(一)ニ對シテハ支那側ヲシテ適(脱)人ヲ僱聘セシムルコト(二)ニ對シテハ可成本邦ニ於ケル郵便規定ヲ支那側ヲシテ採用セシムルコト尤モ之カ採用困難ノ事情アルトキハ當地ノ如キハ日清汽船會社ノ航路アルヲ以テ當分船内郵便事務取扱所ヲ設クルコト(三)ニ對シテハ前記船内郵便事務ニ依リ之カ不便ヲ補フコト、貯金ニ對シテハ當地中日銀行ヲシテ何等カノ方法ヲ以テ便法ヲ講セシムルコトニアリ

右回答迄

外務省

(已號用紙)

機密第二四號

大正十一年五月八日

在芝罘

領事 内 山 清

外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

在支日本郵便局撤廢問題ニ關スル件

本件ニ關シ在支公使宛實電第二三〇號ヲ以テ御下問ノ事項ハ不取致
拙電第六號ヲ以テ及回答置候處別冊「在支日本郵便局撤廢ニ依テ被
ルヘキ在留邦人ノ不便及之レカ對策」ニ關スル私見何等カ御參考迄
貴覽ニ供シ度此段申進候 敬具

外務省